

グラフで見る関西経済(2021年10月)

2021年10月28日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~持ち直しが一服

【今月のポイント】

- 生産(8月)は2ヶ月連続で減少。電子部品デバイス、電気機械などが減少した。先行きは半導体不足などの影響で加工・組立業種などで下振れるリスクがあり、目先、弱含む可能性がある。
- 実質輸出(9月)は2ヶ月ぶりに前月比で減少。
- 8、9月の個人消費は、コロナ感染による人流抑制で総じて弱含む。
- 足下の景況感は、緊急事態宣言解除により持ち直しの動きがみられるが、先行きには懸念が残る。

項目	現状
景気全般	持ち直しが一服(↓)
生産	足踏み状態(↓)
輸出	足踏み状態(↓)
設備投資	持ち直しの動きが見られる
雇用	弱い動きとなっている
賃金	減少している
個人消費	弱い動きがみられる
住宅投資	持ち直しの動きが見られる
公共投資	横ばい圏で推移している

注: ()内は前月からの変化の方向

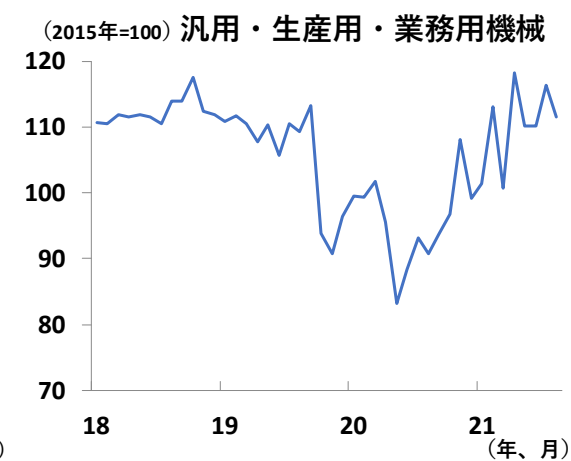
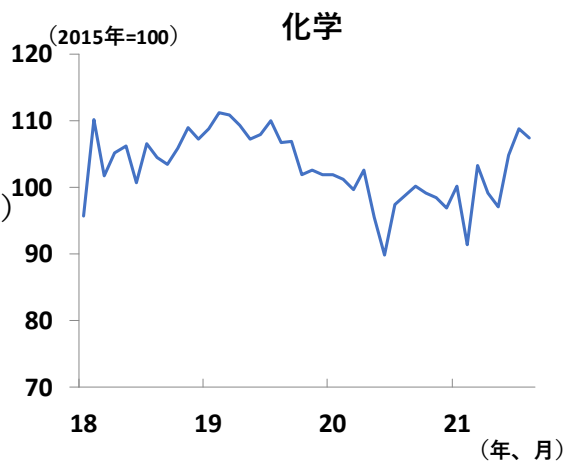
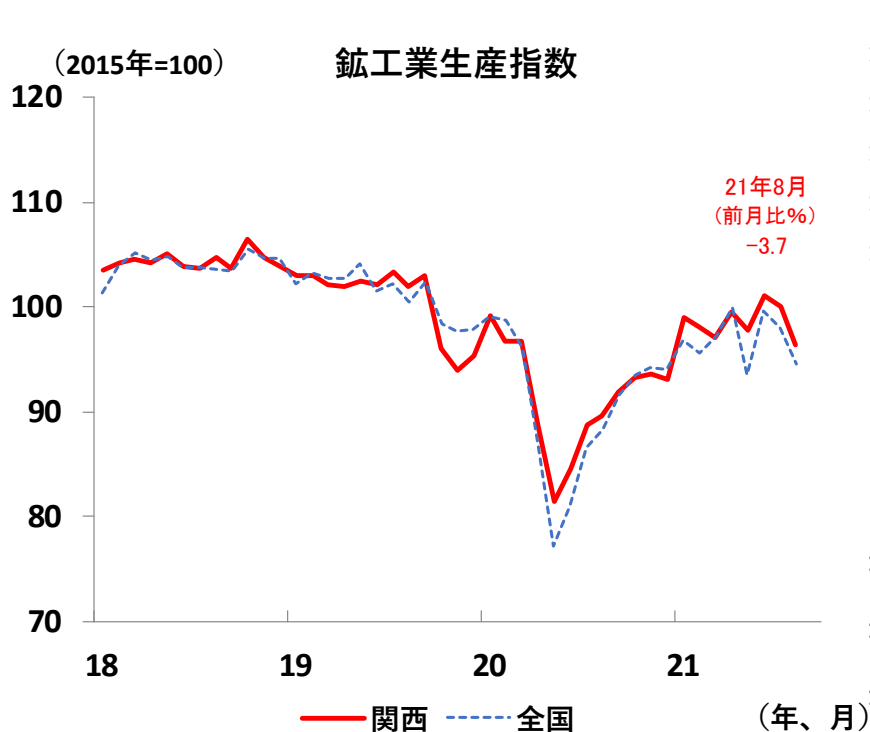
景気全般は、「新型コロナの影響で厳しい状況にあるが、持ち直している」から下方修正(↓)

生産は、「持ち直している」から下方修正(↓)

輸出は、「増加している」から下方修正(↓)

生産

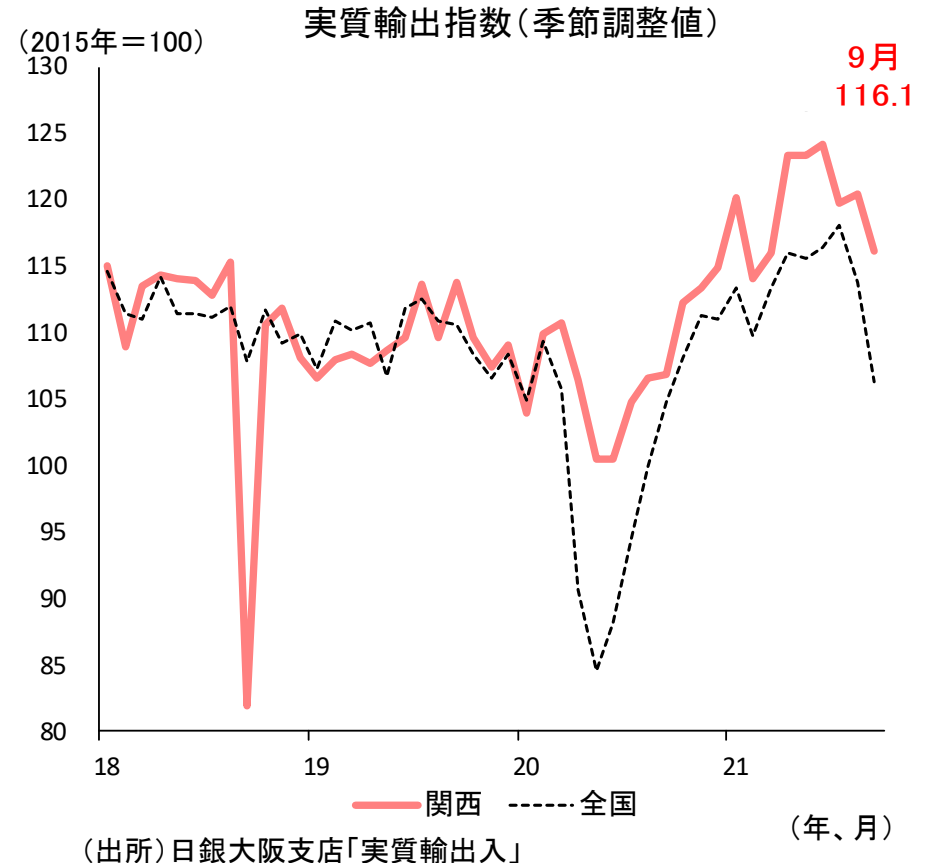
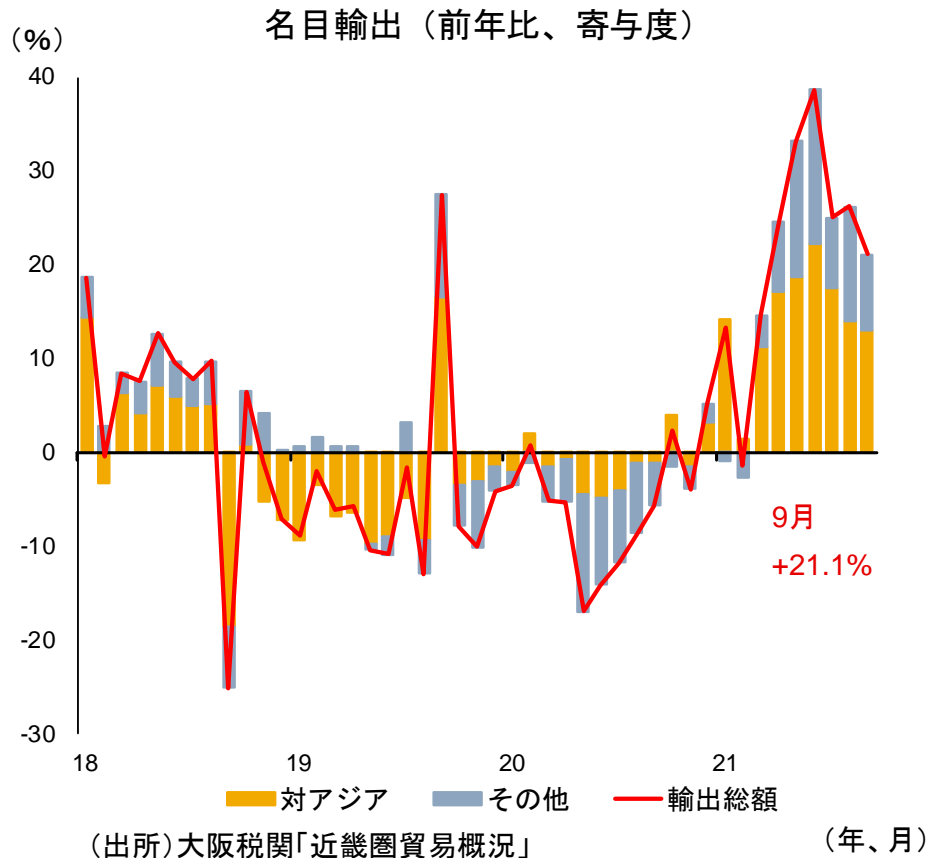
8月の鉱工業生産(関西)は前月比-3.7%と2ヶ月連続で減少。電子部品デバイスなど主要業種で減少した。先行きについては、半導体不足などの影響で加工・組立業種などで下振れるリスクがあり、目先、弱含む可能性がある。



(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

輸出

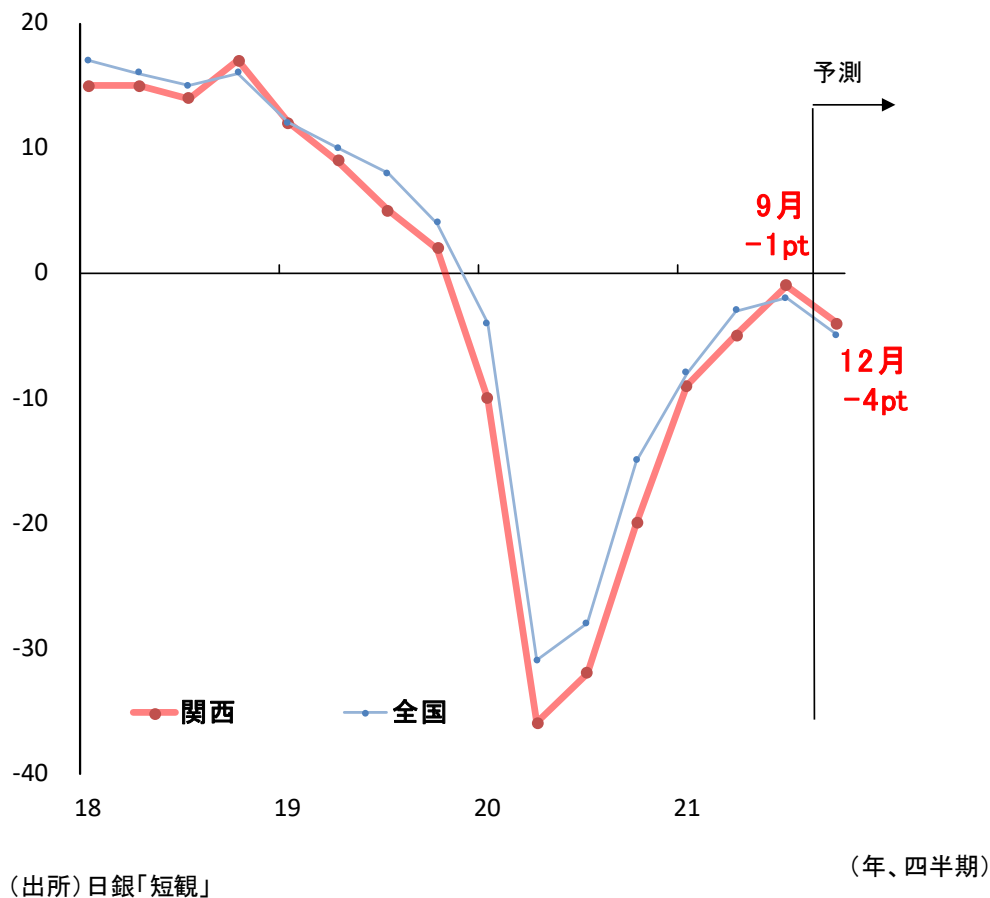
9月の名目輸出額は、前年の落ち込みの反動で前年比+21.1%と7ヶ月連続で増加。地域別では、アジア、米国、EU、その他いずれも増加した。品目別では、半導体等電子部品、鉄鋼などが大幅に増加した。一方、9月の実質輸出(季節調整値)は前月比-3.6%と2ヶ月ぶりに減少した。



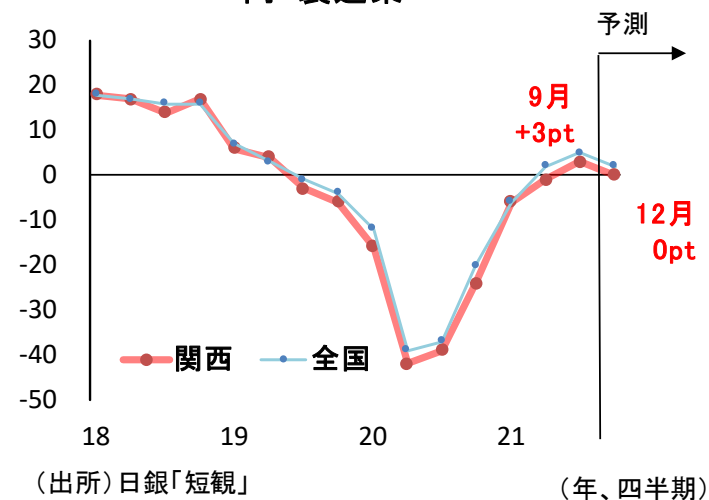
企業景況感(日銀短観)

日銀短観9月調査の業況判断DIは、コロナ感染が落ち着いてきた中での調査であったため、全産業で-1ptと6月調査から改善。製造業は3pt、非製造業は-6ptといずれも改善した。先行き(12月)については、コロナ感染再拡大や部品不足の懸念から、全産業、製造業、非製造業いずれも悪化が見込まれている。

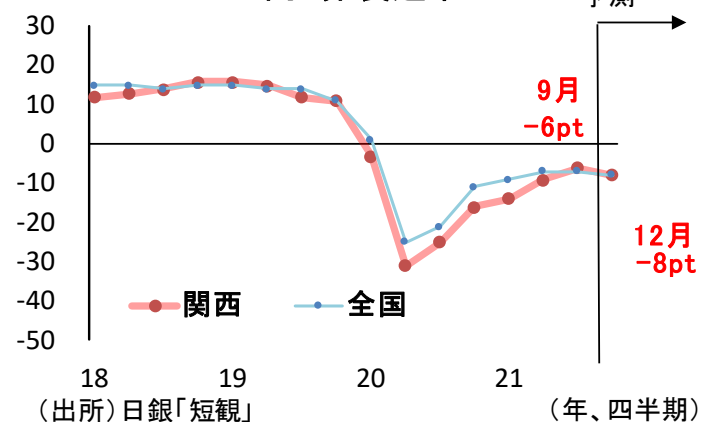
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

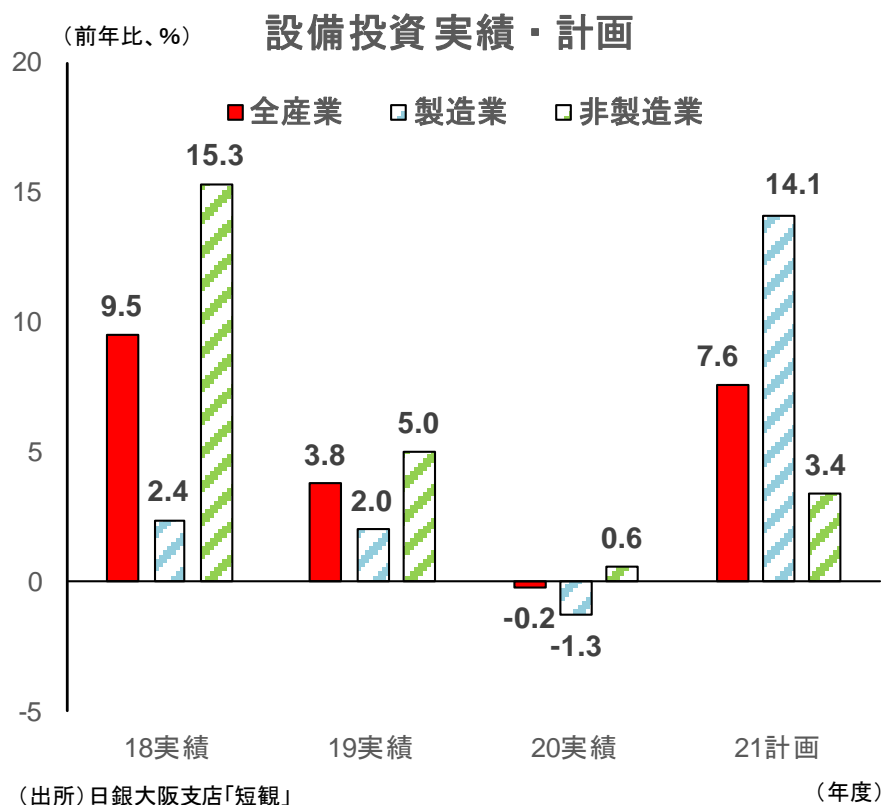


同 非製造業



設備投資

日銀短観9月調査によると、21年度の設備投資(計画)は前年比+7.6%と増加が見込まれている。6月調査時と比べて、製造業は上方修正、非製造業、全産業は下方修正となった。製造業ははん用・生産用・業務用機械が上方修正、非製造業は不動産、小売が下方修正された。



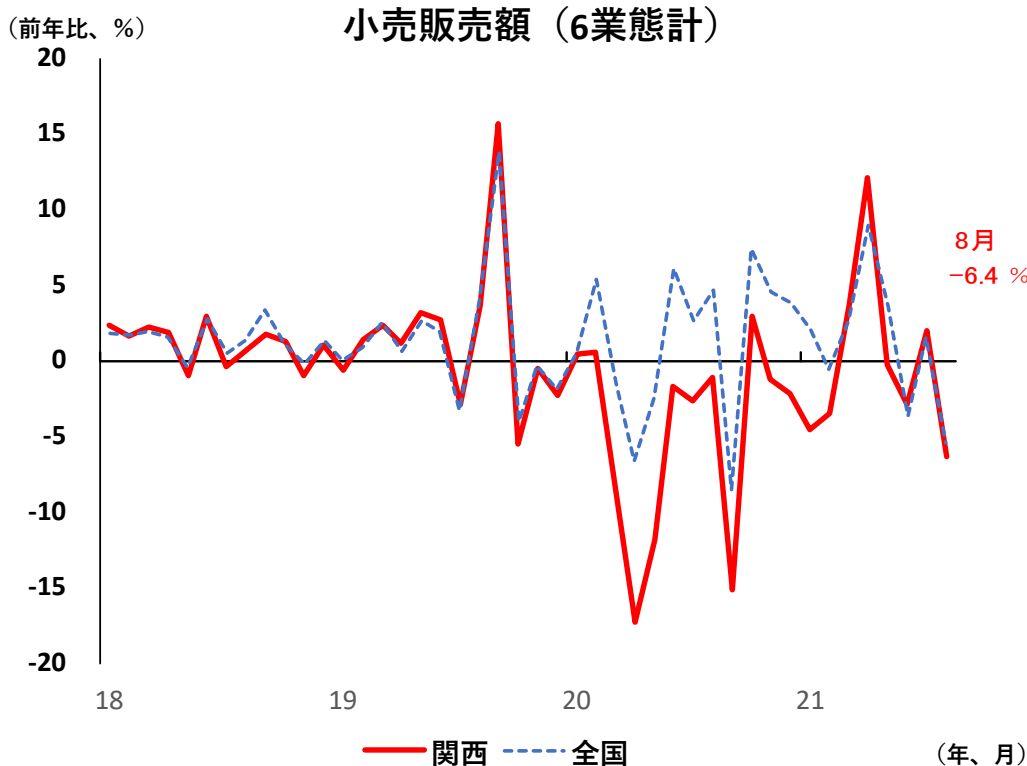
設備投資額(前年比%)

	20年度実績	21年度計画	
		今回	6月調査時 [差異]
全産業	-0.2	7.6	9.4 -1.8
製造業	-1.3	14.1	12.7 1.4
非製造業	0.6	3.4	7.2 -3.8

個人消費(小売売上、自動車販売)

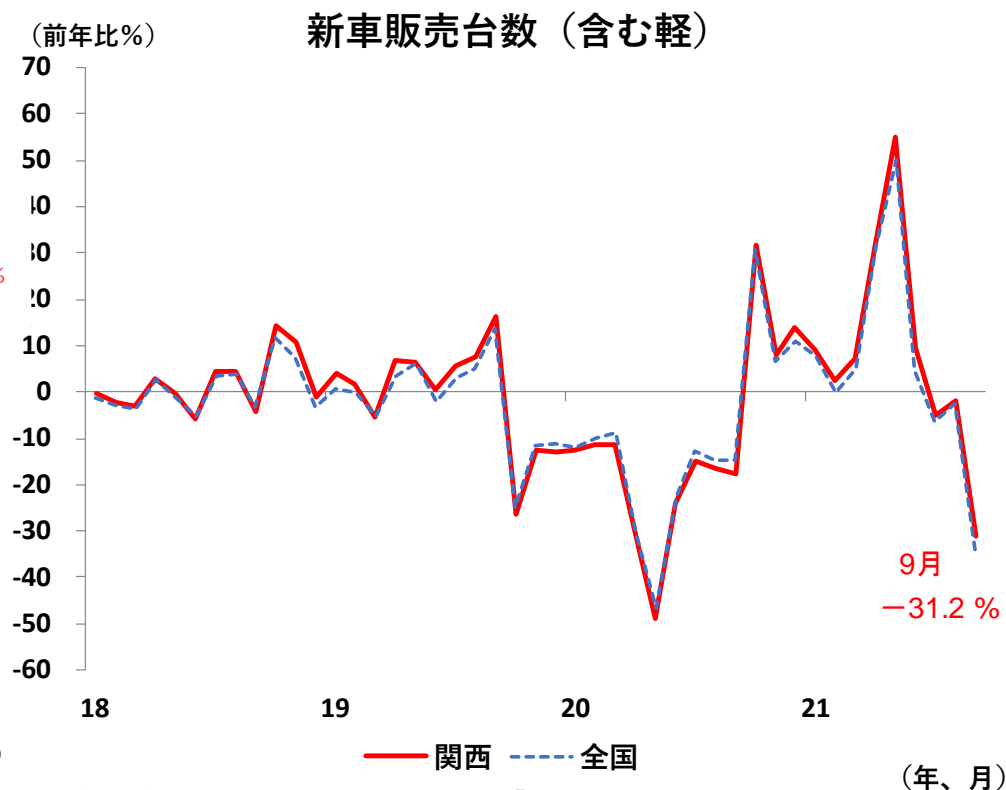
8月の小売販売額は、コロナ感染拡大による人流抑制により前年比 -6.4% と2ヶ月ぶりに減少した(一昨年比では -7.5%)。

9月の新車販売は、半導体の供給不足による生産調整により、前年比 -31.2% と3ヶ月連続で減少。減少幅も大幅に拡大した。一昨年比でも -43.1% と大幅減となっている。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

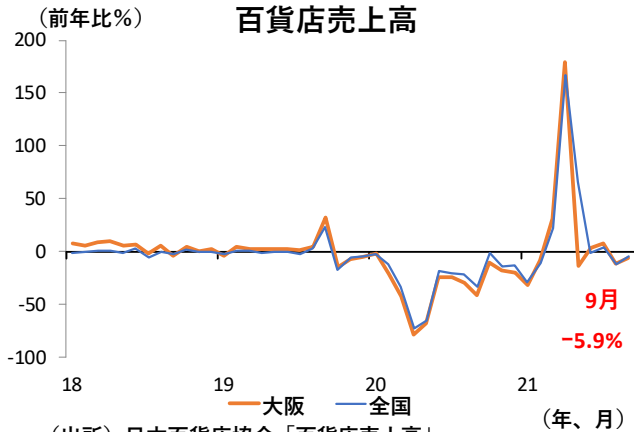


(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

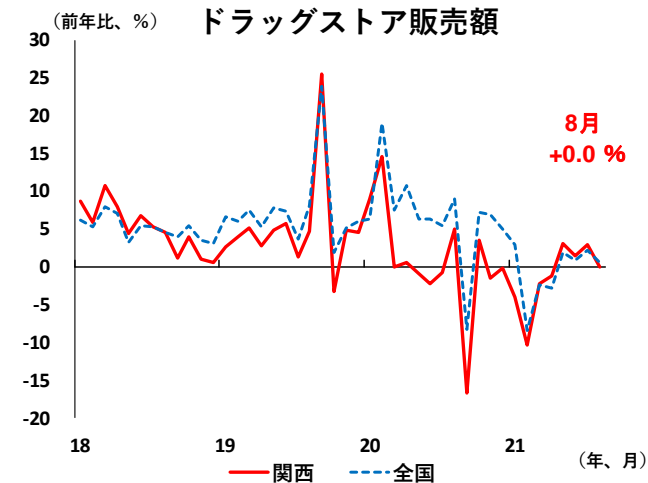
個人消費(業態別)

9月の百貨店売上(大阪)は前年比-5.9%と2ヶ月連続で減少し、一昨年比でも大幅減(-44.5%)が続いている。京阪神免税売上は前年の低水準の反動で同+82.4%の大幅増となったが、水準は低い。8月の家電販売は前年の水準が高かったこともあって4ヶ月連続で減少し、減少幅も拡大した。

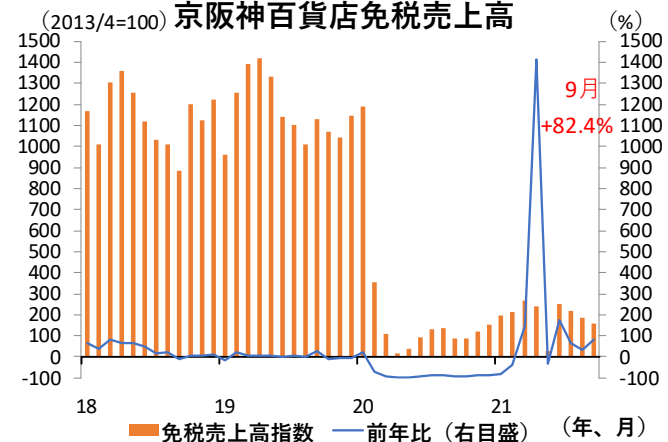


(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

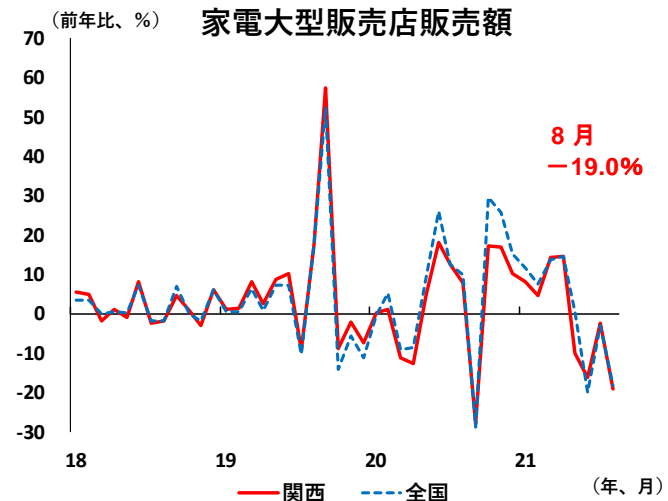
(注) 店舗調整後前年比



(出所) 経済産業省「商業動態統計」



(出所) 日銀大阪支店「百貨店免税売上(関西)」

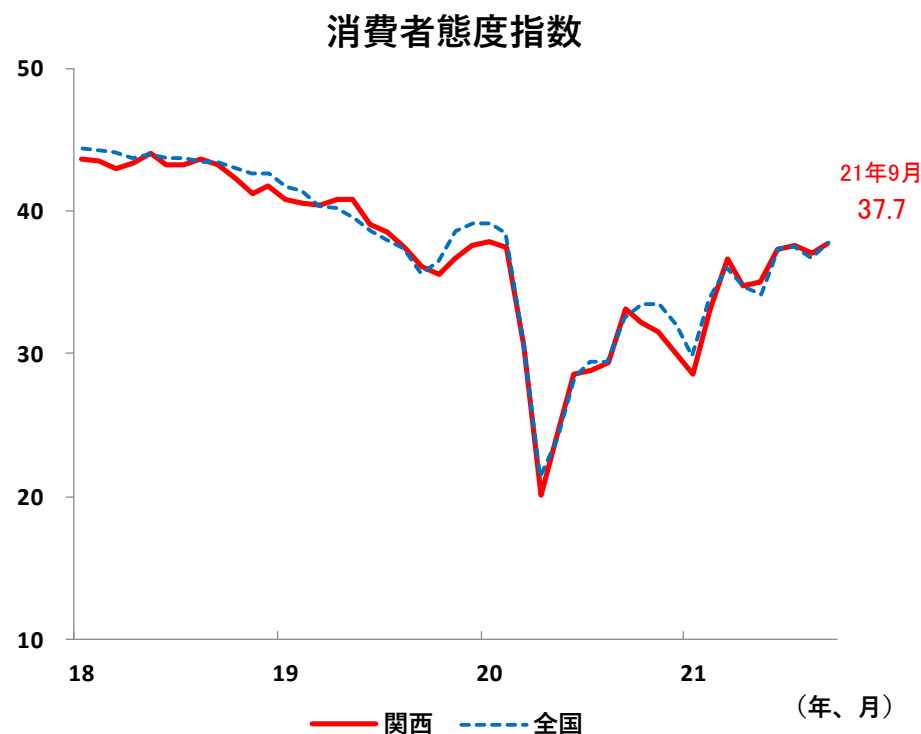


(出所) 経済産業省「商業動態統計」

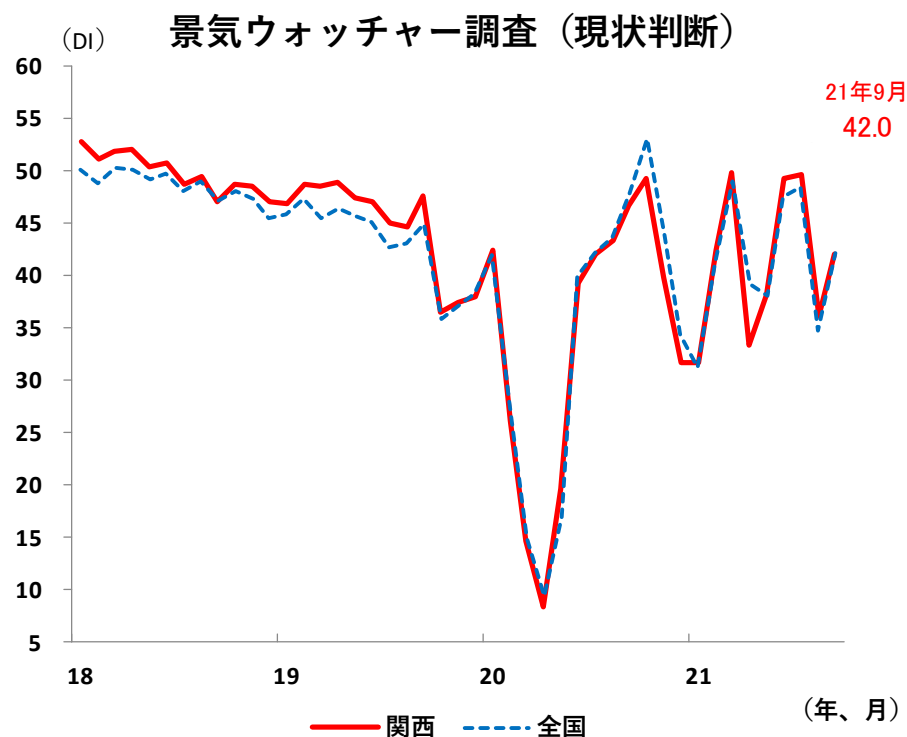
マインド・景況感

9月の消費者態度指数(季節調整値)は37.7と2ヶ月ぶりに上昇した。

9月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差+5.8ポイントの42.0と2ヶ月ぶりに上昇した。新型コロナ新規感染者数が減少し緊急事態宣言の解除がみえてきたことにより、持ち直しの動きがみられた。



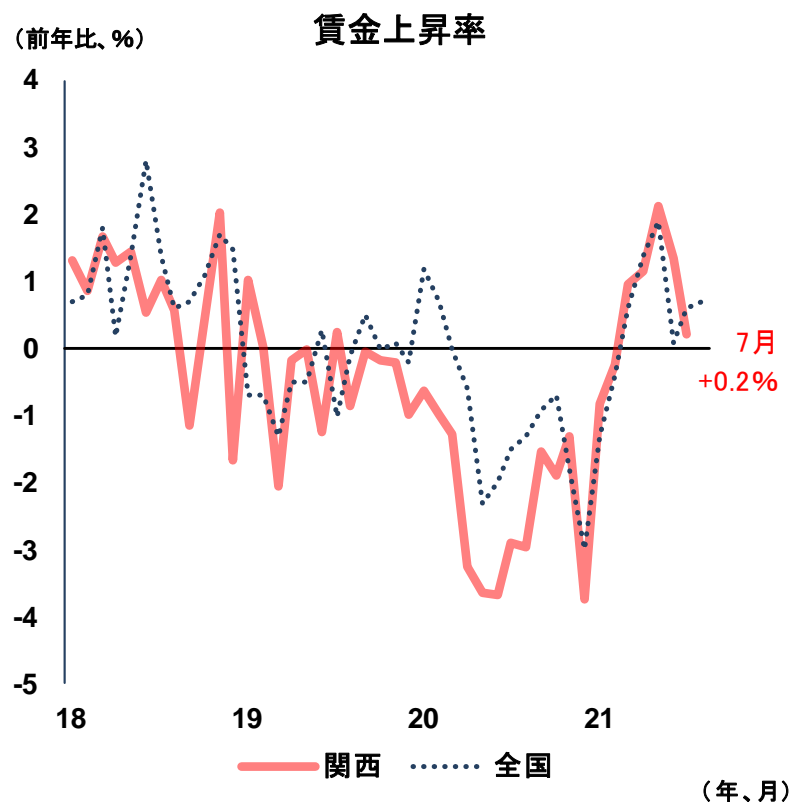
(注)関西の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

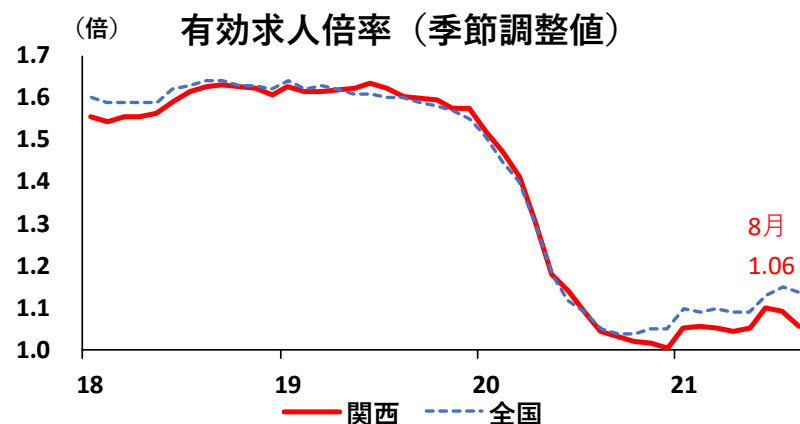
賃金・雇用

7月の名目賃金指数は、前年比+0.2%と5ヶ月連続で増加したが、一昨年比では-2.7%と減少している。
 8月の有効求人倍率は1.06倍と前月(1.09)から小幅低下。
 21年4-6月期の失業率は3.2%と前期から横ばい。就業者数は減少した。

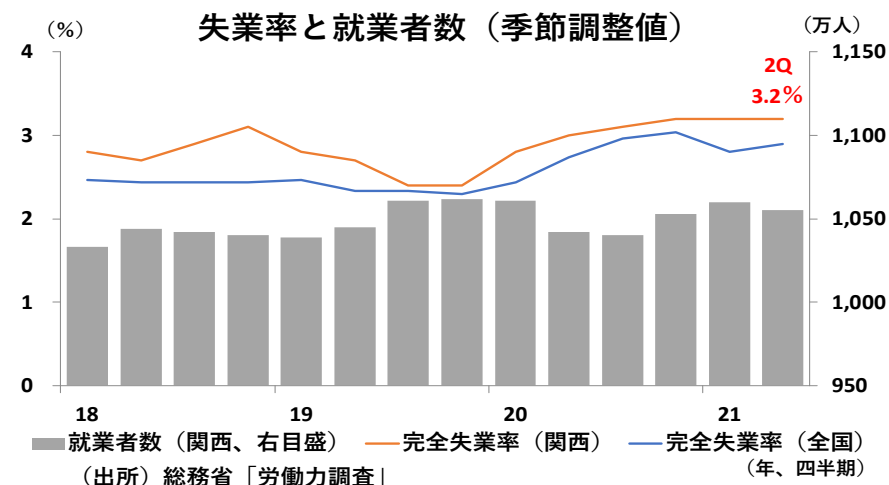


(注) 関西2府4県の名目賃金指数を常用労働者数で按分し合成したもの、MURC試算

(出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」

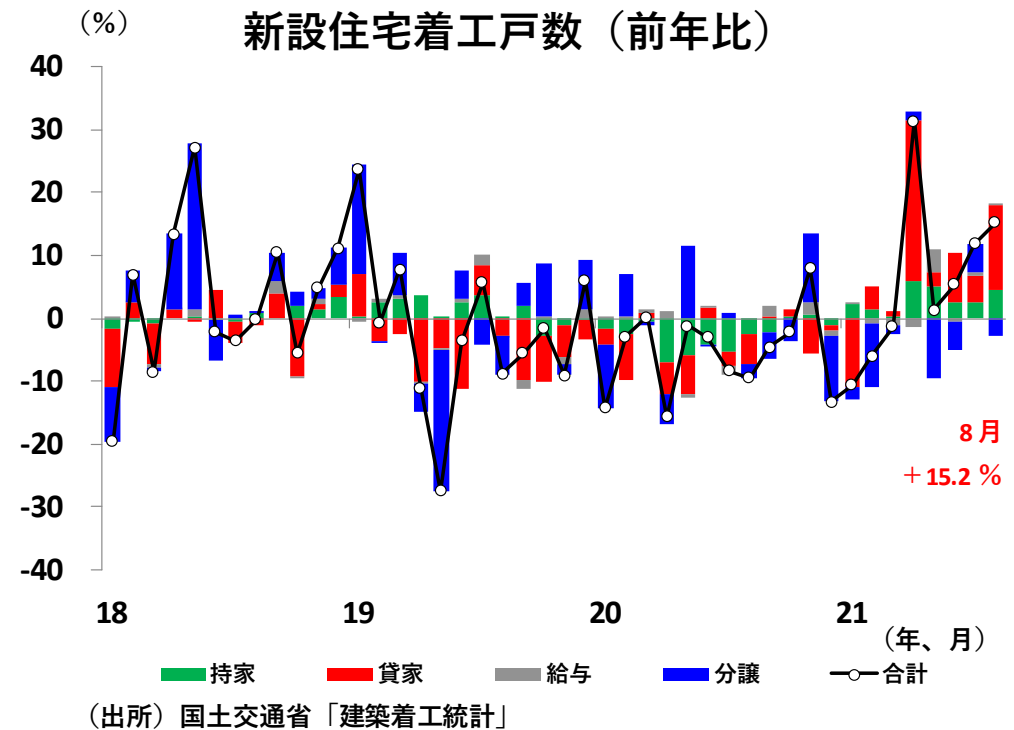
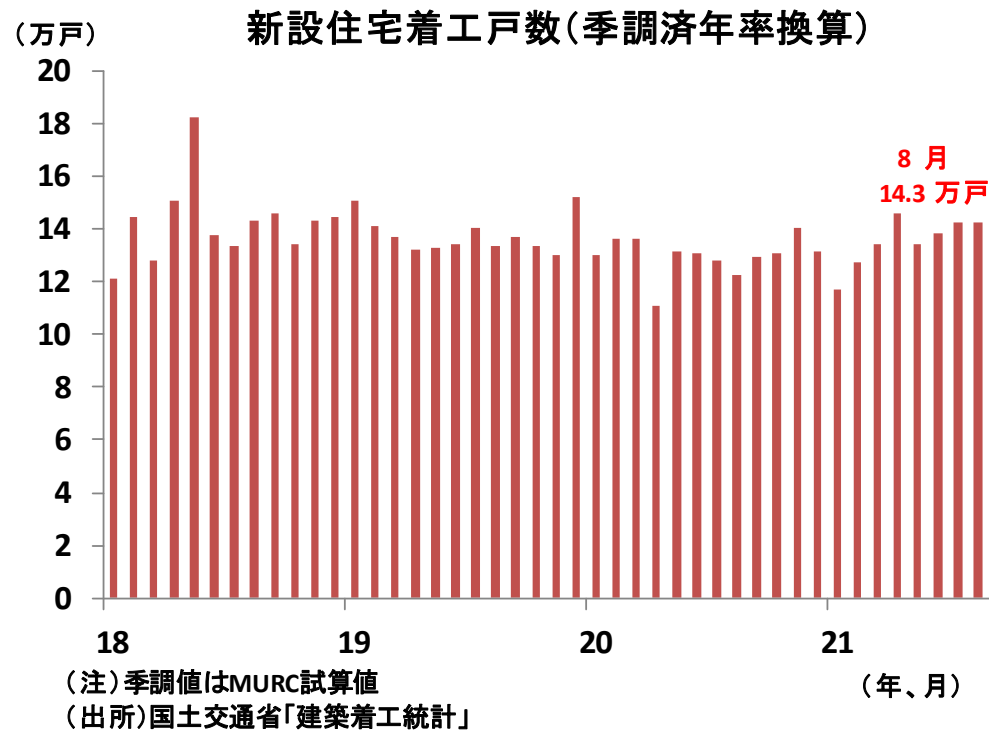


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



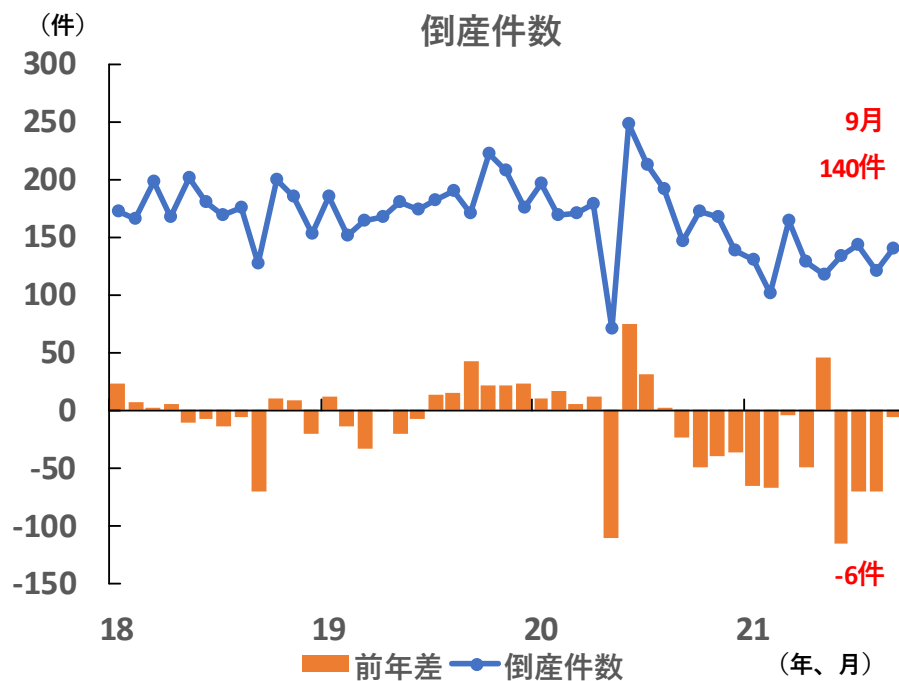
住宅投資

8月の住宅着工は季調・年率14.3万戸、前年比では+15.2%となった。分譲が減少したが、持家、貸家が増加した。



倒産

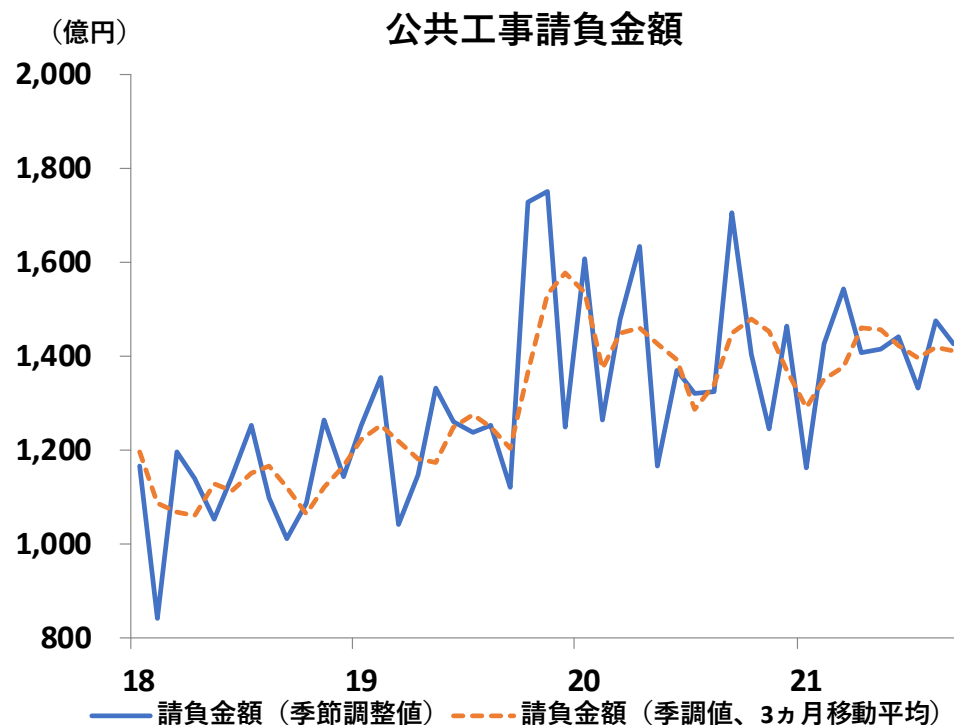
9月の倒産件数は140件と前年を下回り、低水準で推移している。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

公共投資は均してみると横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(年、月)

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください